

令和 4年度 船上浄化センター上水道管布設替工事

工事設計図書  
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市船上町1-5

工 種







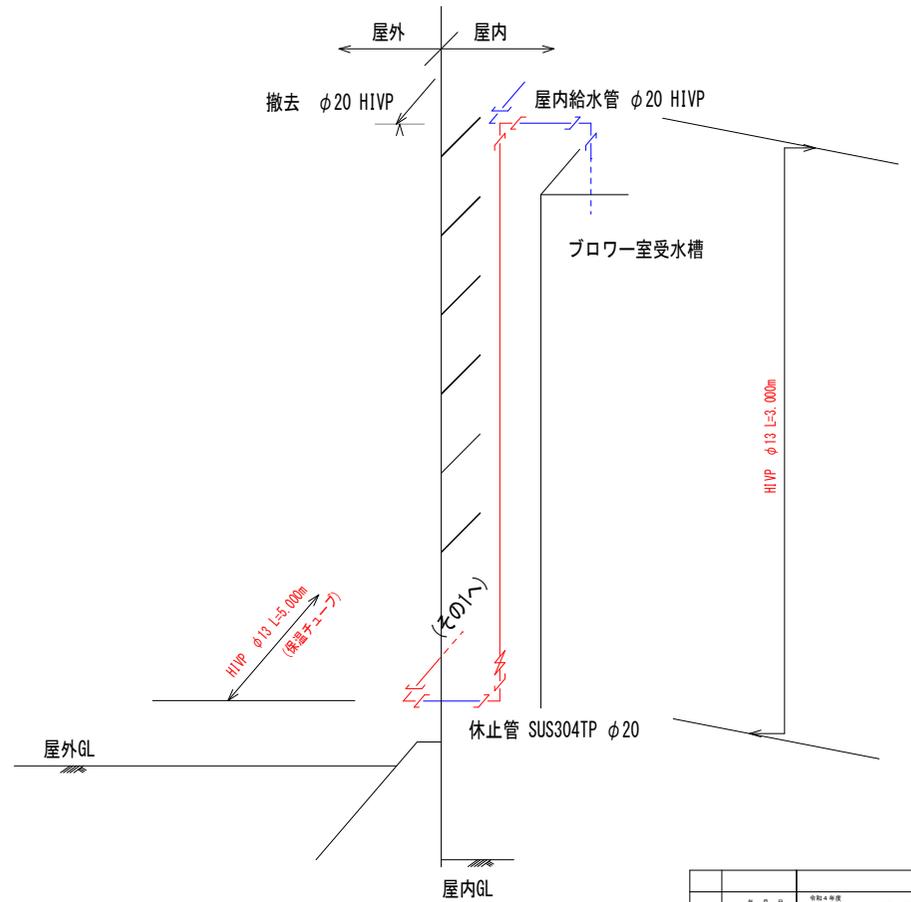
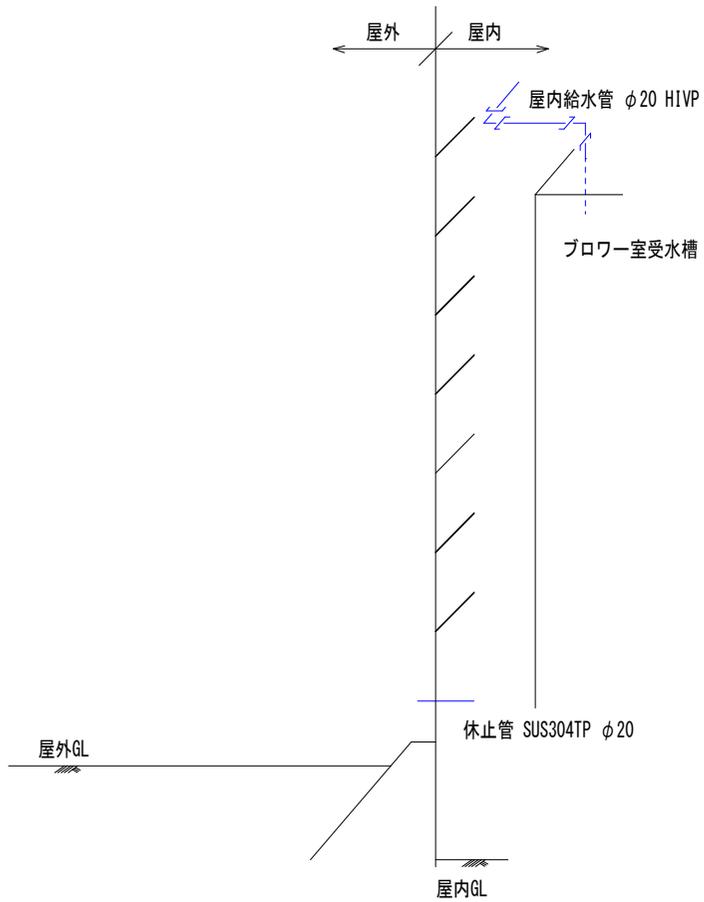




① 連絡詳細(その2)  
(施工前)

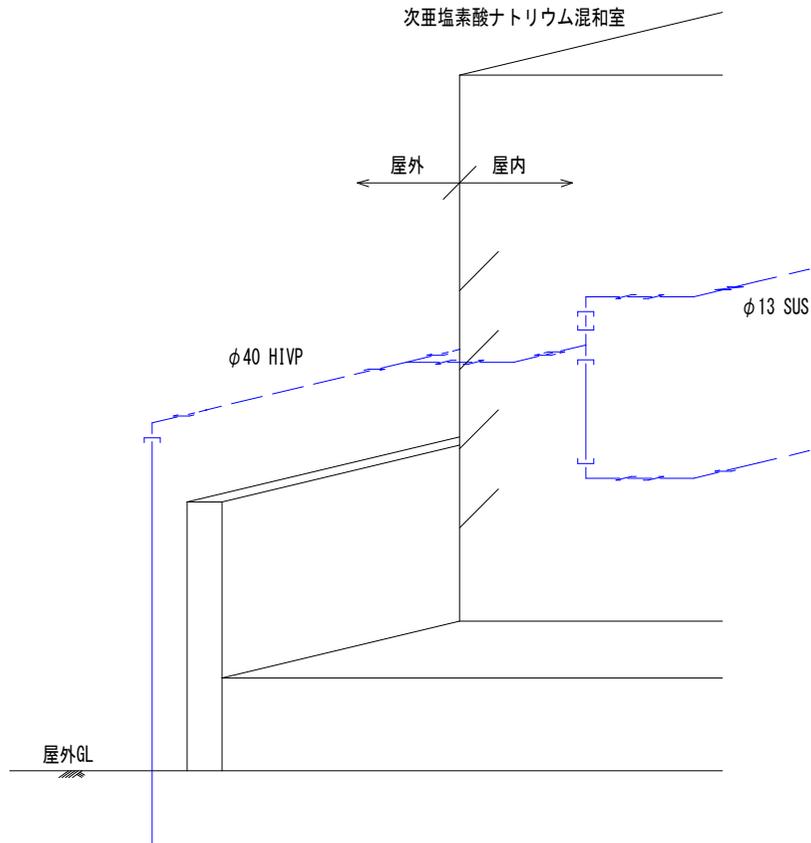
連絡詳細図 S=NonScale

② 連絡詳細(その2)  
(施工後)

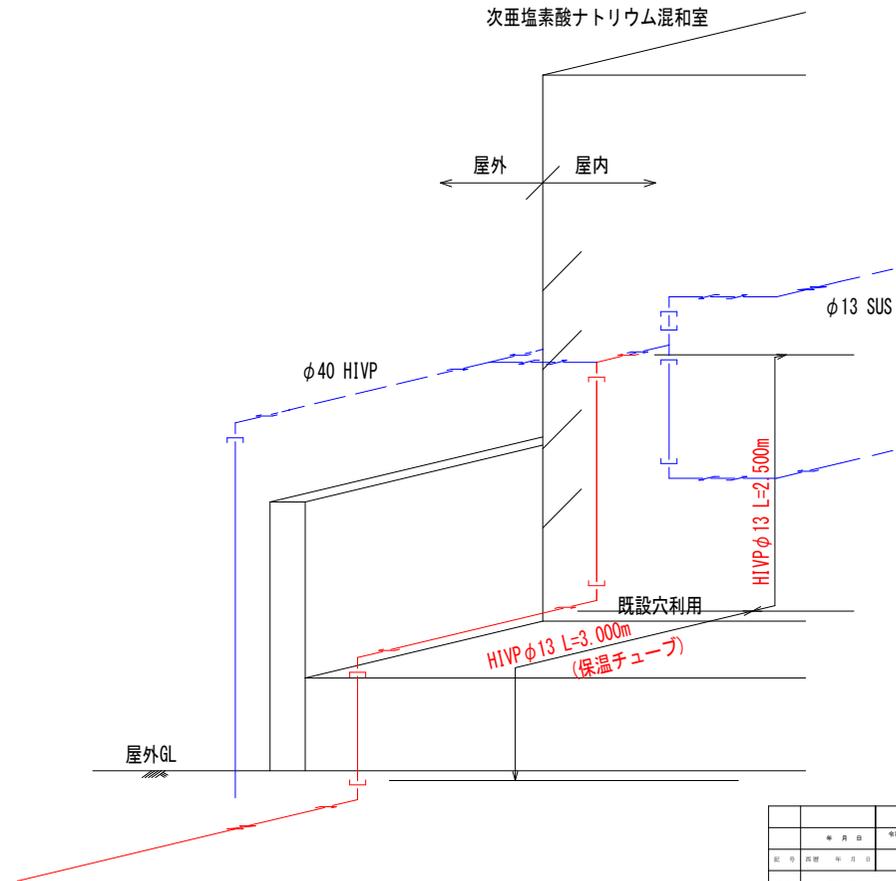


編 号 目		令和4年度 船土浄化センター上水道管取替工事	
図 号	西管 年 月 日	図 案	作図・設計者
基準 規格	JIS S 5046 JIS S 5047	用途	
採用品名		地区	船土処理区
		場所	船土浄化センター
採用品番	5 / 10	種別	上水道管
種別		材質	
種尺		工種	土・水・建築
① 明石市公共下水道 施設図面		施設番号	下 水 道 室
		TEL	078-934-9861

㉔ 連絡詳細  
(施工前)



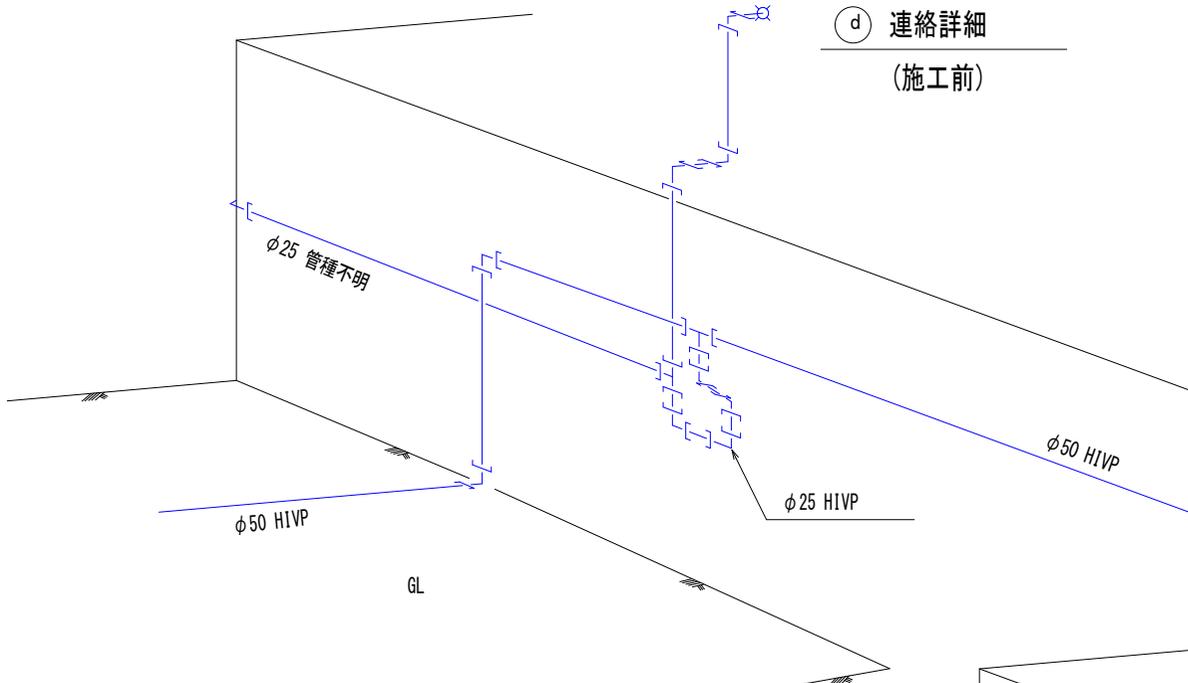
㉔ 連絡詳細  
(施工後)



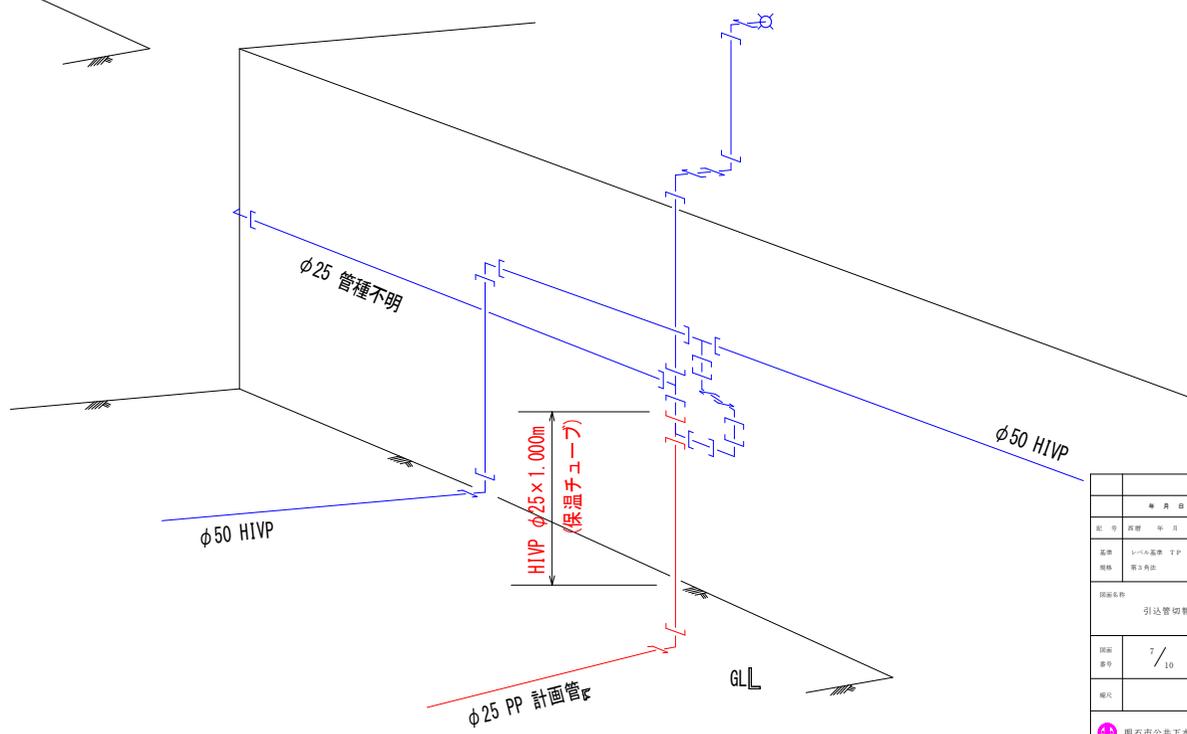
編 号		令和4年度 船土浄化センター上水道管取替工事	
図 号	西管 年 月 日 法	図 案	作成・設計者
基準	上水道法 下P	用途	
規格	第3号法	地区	船土処理区
図面名称	引込管切替詳細図(c部)	場所	船土浄化センター
図面番号	6 / 10	施設	上水道管
縮尺		計画	
製図		工種	土・木・建築
明石市公共下水道 施設図面		施設管理	下水道室 TEL 078-934-9881

連絡詳細図 S=NonScale

④ 連絡詳細  
(施工前)

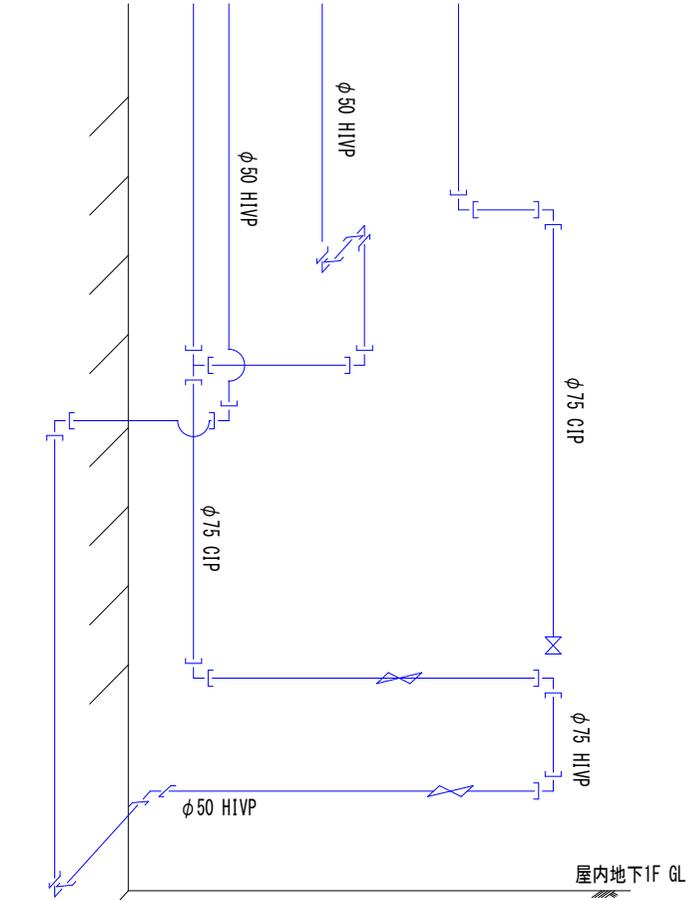


④ 連絡詳細  
(施工後)

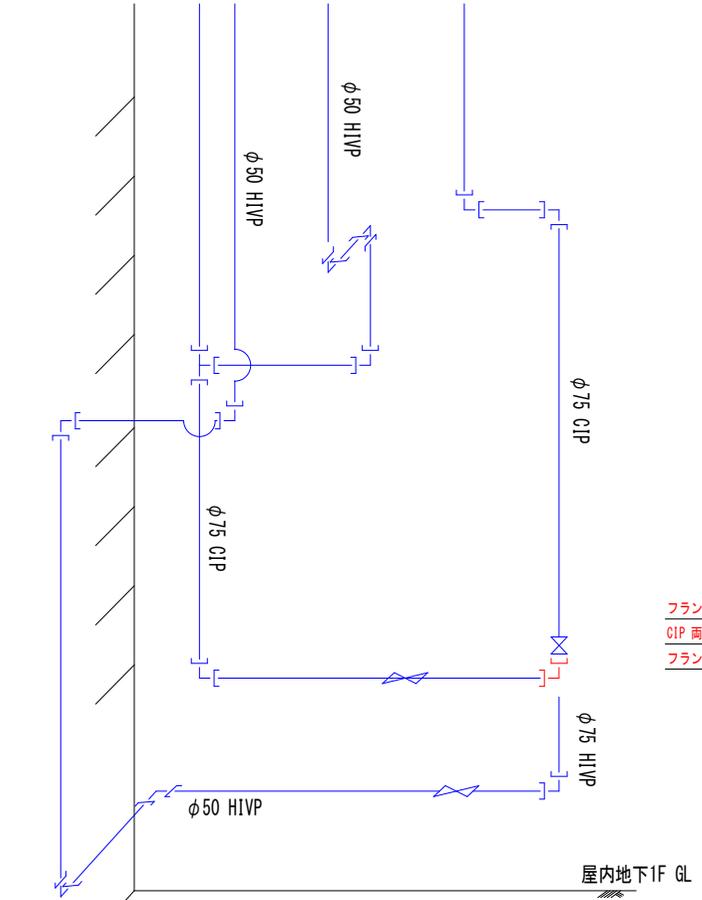


図名	年月日	令和4年度 船上市場ビル上水道管取替工事	図番	010
設計	年月日		監理	
基準	レベル基準	T.P	用途	
規格	管径		所在地	船上市場地区
図面名称	引込管切替詳細図(4部)		場所	船上市場センター
図面番号	7 / 10		種別	上水道管
種別			工種	土木・建築
作成者			設計者	下 水 道 室
承認者			監理者	TEL 078-934-8965

⑤ 連絡詳細  
(施工前)



⑤ 連絡詳細  
(施工後)



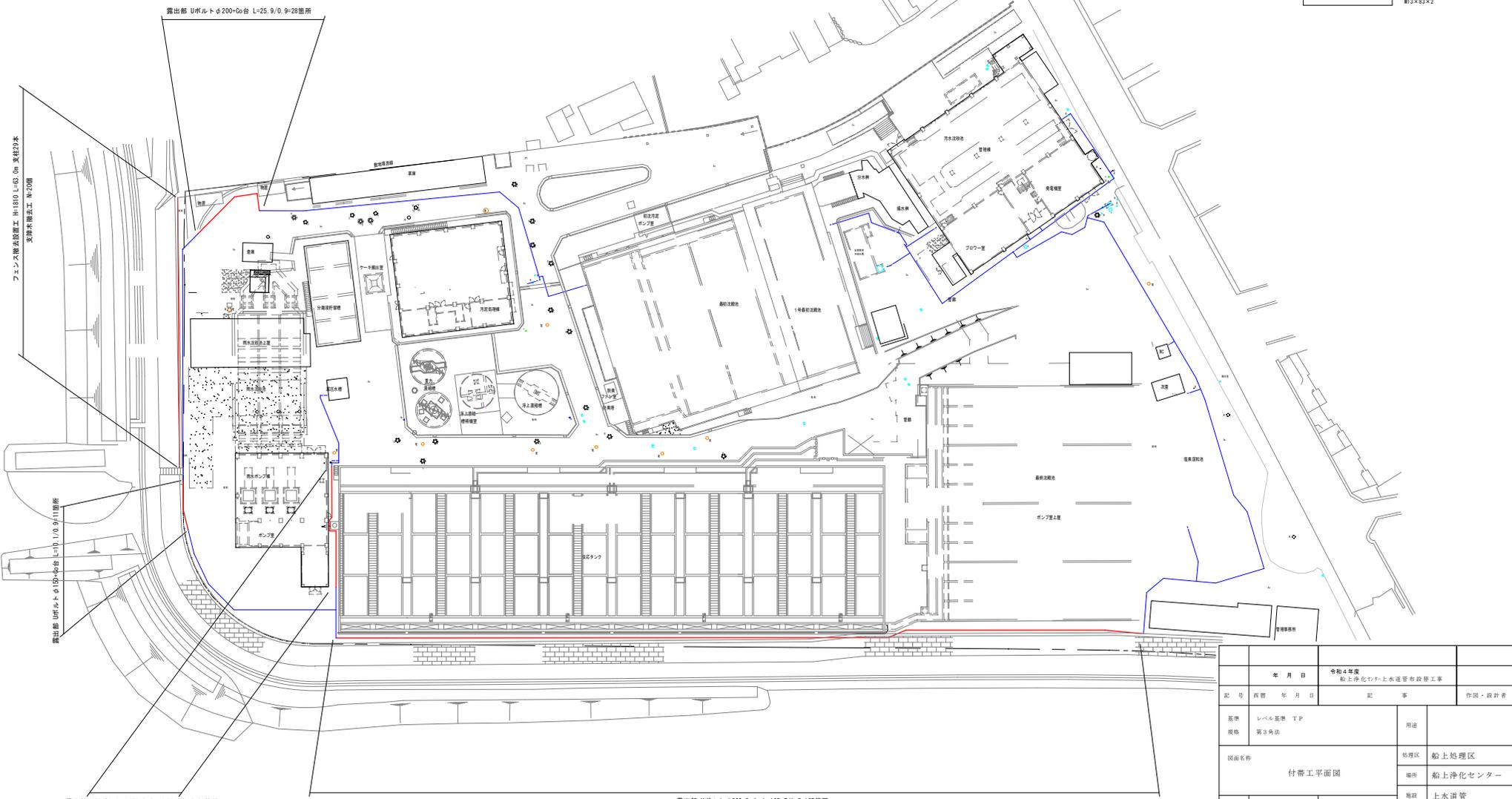
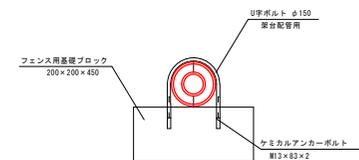
フランジ接手材 φ75  
C1P 両方向 曲管 φ75×90° (既設流用)  
フランジ接手材 φ75

年月日		令和4年度 船土浄化センター上水道管の設置工事	
区分	計画	年月日	記号
基礎	レベル基準	丁P	用途
管種	管径	φ75	用途
図面名称	引込管切替詳細図(ε部)		船土処理区
図面番号	8 / 10		船土浄化センター
管径	φ75		用途
管種	上水道管		用途
管尺			用途
工種	土木・建築		用途
明石市公共下水道 施設図面			新田事務所 下水道室 TEL 078-934-8861

付帯工平面図

S=1:400

支持金具取付図  
φ75, φ150



露出部 Uボルト φ200×Co台 L=25.9/0.9=28箇所

フェンス埋込設置工 H=1810 L=60 長さ29本  
支脚木脚加工 計20個

露出部 Uボルト φ150×Co台 L=10.1/0.9=11箇所

露出部 U型ボルト φ150×Co台 L=31.3/1.3=24箇所

露出部 Uボルト φ200×Co台 L=163.7/1.3=125箇所

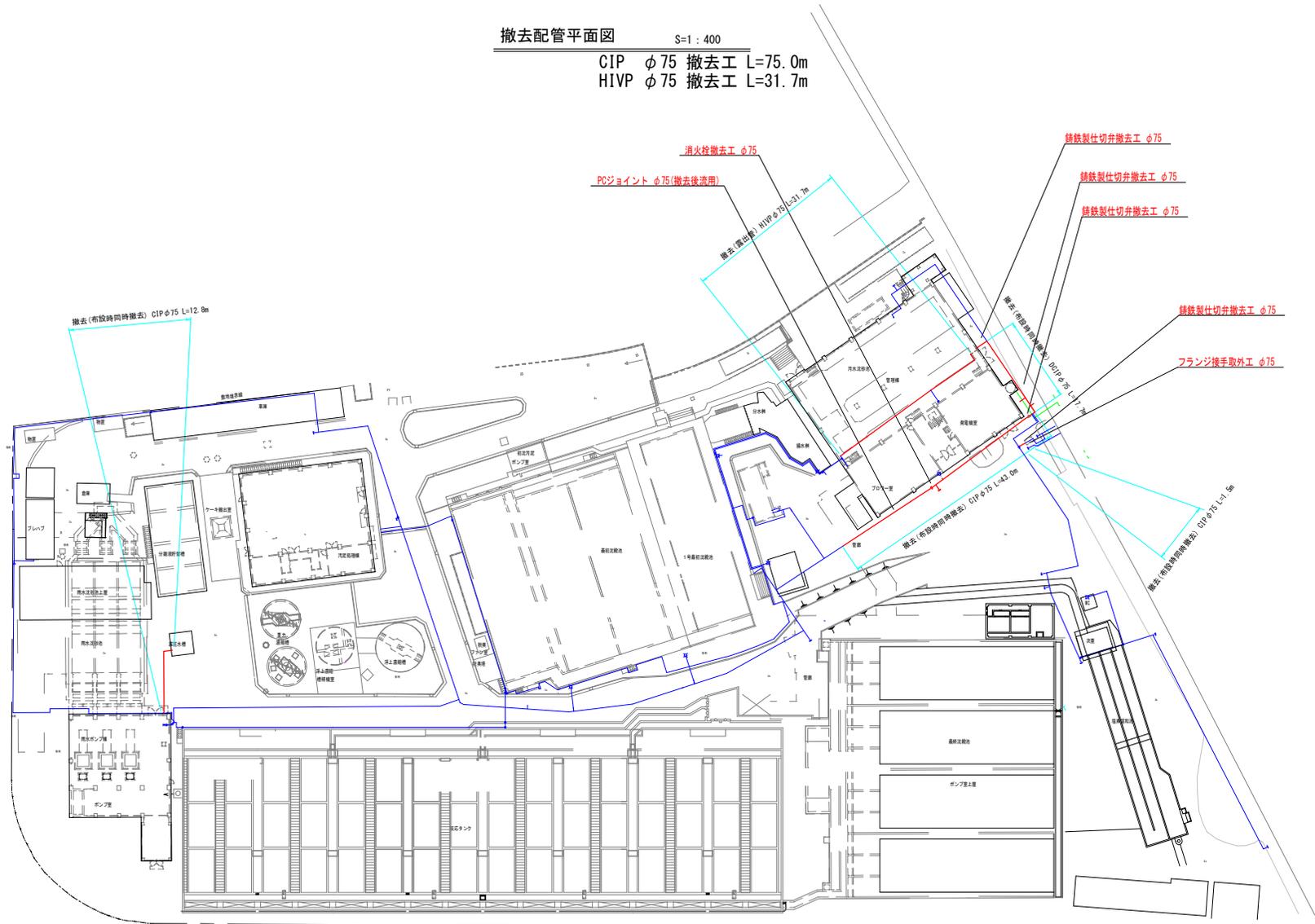
年月日	令和4年度		
記号	西暦年月日	記号	作図・設計者
基準	レベル基準 T.P	用途	
規格	第3号法	船上処理区	
図面名称	付帯工平面図		場所 船上网化センター
図面番号	10 / 10	施設	下水道
縮尺	1/400	工種	土木・建築
原図管理		下水道室	
明石市公共下水道 施設図面		TEL 078-934-8861	

撤去配管平面図

S=1:400

CIP φ75 撤去工 L=75.0m

HIVP φ75 撤去工 L=31.7m



# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費					
管路					
φ50管路					
φ50管布設工					
材料(埋設部)					
PE EF受口付直管 φ50	JWWA K 144, PTC K03	式		1	
PE EF片受ベント <sup>°</sup> (90°) φ50	JWWA K 145, PTC K13	本		32	
PE EF片受ベント <sup>°</sup> (45°) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		4	
PE EF片受ベント <sup>°</sup> (45°) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		3	
PE EF片受ベント <sup>°</sup> (22° 1/2) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EF両受ベント <sup>°</sup> (90°) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		3	
PE EF両受ベント <sup>°</sup> (45°) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EF両受ベント <sup>°</sup> (11° 1/4) φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EFカット φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		2	
PE挿し口付 ツグシール仕切弁 φ50	左開き	個		1	
PVジョイント φ50	接合部材含む	個		1	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=540)	塩害用鉄蓋含む	組		1	
表示帯		m		156.5	
ポリスリーブ φ50	PE管用	m		156.5	

# 契約数量表

頁0-0002/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		10	
材料 (露出部)		式		1	
PE EF 直管 φ50	保温付UVガード仕様 プレーンエンド	本		7	
PE EF 兩挿ヘント (90°) φ50	保温付UVガード仕様	個		5	
PE EF 兩挿ヘント (45°) φ50	保温付UVガード仕様	個		2	
PE EF 兩挿ヘント (11° 1/4) φ50	保温付UVガード仕様	個		1	
PE EF カット φ50	JWWA K 145, PTC K13	個		15	
ソケットカバー φ50用	保温付UVガード仕様	個		15	
手間		式		1	
ポリエチレン管 (融着接合) 据付	呼び径 50mm	m		155.9	
ポリエチレン管 (融着接合) 据付	呼び径 50mm	m		36	
ポリエチレン管 (新設管) 切断工	呼び径50mm	口		12	
ポリエチレン管 (新設管) 切断工 φ50	保温カバー切断含む	口		6	
ソケットカバー取付工	呼び径 50mm	箇所		15	
鋳鉄製仕切弁 (機械力) 設置	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		1	
仕切弁ボックス設置工 (H=540)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
ポリエチレン管 (融着接合) 継手工 呼び径 50mm	1口継手	箇所		84	
硬質塩化ビニル管 TS継手工 (呼び径 50mm)		口		1	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管明示シート工		m		156.5	
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 50mm)		m		156.5	
管明示テープ工(ポリエチレン管)	呼び径φ50mm 天端明示無し	m		156.5	
φ50管布設土工					
土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		133	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m <sup>2</sup>		36	
掘削積込工		m <sup>3</sup>		59	
床掘り【人力】	土砂 現場制約あり	m <sup>3</sup>		2	
残塊処分工(アスファルト)		m <sup>3</sup>		1	
残塊処分工(土砂)		m <sup>3</sup>		41	
アスファルト舗装工(人力)	密粒度アスコ[再](13) t=50mm	m <sup>2</sup>		36	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	m <sup>2</sup>		36	
埋戻工(埋戻し材→流用土)		m <sup>3</sup>		17	
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)		m <sup>3</sup>		9	
埋戻工(埋戻し材→スクリーングラス)		m <sup>3</sup>		28	
人力埋戻(再生碎石)		m <sup>3</sup>		0.5	
人力埋戻(スクリーングラス)		m <sup>3</sup>		1	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
φ75管路					
φ75管布設工					
材料					
PE EF受口付直管 φ75		式		1	
PE EF片受へんつゝ (90°) φ75	JWWA K 145, PTC K13	本		59	
PE EF片受へんつゝ (45°) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		9	
PE EF片受へんつゝ (45°) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		7	
PE EF片受へんつゝ (22° 1/2) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		4	
PE EF両受へんつゝ (90°) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		2	
PE EF両受へんつゝ (22° 1/2) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EF両受へんつゝ (11° 1/4) φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EFチース (両受型) φ75×75	JWWA K 145, PTC K13	個		4	
PE EF異径チース (両受型) φ75×50	JWWA K 145, PTC K13	個		2	
PE EF片受レギュサ φ75×50	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EFカット φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		4	
PE EF キャップ φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE フランジ付チースRF形 (7.5k) φ75×75	JWWA K 145, PTC K13	個		1	
PE EF フランジ φ75	JWWA K 145, PTC K1	個		1	
PE挿し口付 ソフトシル仕切弁 φ75		個		6	

# 契約数量表

頁0-0005/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
PC ジョイント φ75	継手材含む	個		5	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=540)	塩害用鉄蓋含む	組		6	
ケラップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65	JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa	基		1	
フランジ短管 φ75×150	0.75MPa	個		1	
補修弁(キャップ式) φ75×100	JWWA B 126, 0.75MPa	基		1	
フランジ接合補強具(LSP形) φ75	7.5K LSPパッキン	組		6	
消火栓ボックス(円形3号)(H=640)	塩害用鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		1	
定水位弁 φ75	ストレート型 フランジ継手	個		1	
表示帯		m		259.3	
ポリスリーブ φ75	PE管用	m		259.3	
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		17	
材料(露出部)		式		1	
PE EF直管 φ75	保温付UVガード仕様 プレーンエンド	本		40	
PE EF両挿ベント(90°) φ75	保温付UVガード仕様	個		8	
PE EF両挿ベント(45°) φ75	保温付UVガード仕様	個		2	
PE EF両挿ベント(22° 1/2) φ75	保温付UVガード仕様	個		2	
PE EFカット φ75	JWWA K 145, PTC K13	個		60	
ソケットカバー φ75用	保温付UVガード仕様	個		60	

# 契約数量表

頁0-0006/0013

手間	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
			式		1	
	ポリエチレン管(融着接合)据付	呼び径 75mm	m		254.6	
	ポリエチレン管(融着接合)据付	呼び径 75mm	m		194	
	ポリエチレン管(新設管)切断工	呼び径75mm	口		20	
	ポリエチレン管(新設管)切断工 φ75	保温カバー切断含む	口		13	
	ソケットカバー取付工	呼び径 75mm	箇所		60	
	鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		7	
	仕切弁ボックス設置工(H=540)	鉄蓋設置含む	箇所		6	
	消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工 フランジ接合1口含む	箇所		1	
	フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J W W A 7.5 K	口		5	
	ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 75mm	1口継手	箇所		232	
	メカニカル継手 接合(呼び径 75mm以下)	継手:K形 特殊押輪補正あり	口		5	
	ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm		口		5	
	管明示シート工		m		259.3	
	ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 75mm)		m		259.3	
	管明示テープ工(ポリエチレン管)	呼び径φ75mm 天端明示無し	m		259.3	
	φ75管布設土工					
	土工		式		1	

# 契約数量表

頁0-0007/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		499	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m <sup>2</sup>		137	
掘削積込工		m <sup>3</sup>		105	
残塊処分工(アスファルト)		m <sup>3</sup>		6	
残塊処分工(土砂)		m <sup>3</sup>		103	
アスファルト舗装工(人力)	密粒度アスコ[再](13) t=50mm	m <sup>2</sup>		137	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	m <sup>2</sup>		137	
埋戻工(埋戻し材->流用土)		m <sup>3</sup>		2	
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)		m <sup>3</sup>		34	
埋戻工(埋戻し材->スクリーニングス)		m <sup>3</sup>		54	
引込管切替					
管布設工					
材料		式		1	
表示帯		m		87.5	
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		5	
PP管 φ13		m		46.2	
PP用オネジソケット φ13		個		5	
PPエルボ φ13×90°		個		9	

# 契約数量表

頁0-0008/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
PP用塩ビソケット φ13	接続材料含む	個		1	
止水栓 φ13		個		7	
PP用異径ソケット φ20×13		個		5	
PP管 φ20	二層管,1種(軟質)	m		15.4	
PPエルボ φ20		個		6	
止水栓 φ20		個		1	
PE用 EF付ナル付分水栓 φ50×20		個		2	
PE用 EF止水付ナル付分水栓 φ75×20		個		5	
PP管 φ25	二層管,1種(軟質)	m		25.9	
PPエルボ φ25		個		5	
PP用塩ビソケット φ25	接続材料含む	個		1	
PP用異径チーズ φ25×13		個		1	
PP用異径ソケット φ25×13		個		1	
止水栓 φ25		個		2	
PE用 EF止水付ナル付分水栓 φ50×25		個		1	
PE用 EF止水付ナル付分水栓 φ75×25		個		1	
HIVP φ13 材料	管継手、接合材料、支持材料、塗装材含む	m		13.5	
保温チューブ φ13		m		8	

# 契約数量表

頁0-0009/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
HIVP φ25 材料	管継手、接合材料、支持材料、塗装材含む	m		2.5	
保温チューブ φ25		m		2.5	
HI キャップ φ75	JIS K 6743	個		3	
止水栓BOX 明石型 H=400		個		10	
散水栓 φ13		個		1	
散水栓 φ20		個		2	
散水栓鉄蓋・BOX		個		3	
フランジ継手材(RF形) φ75	ボルト・ナット(SUS製)及びRF形カスケツト	組		2	
手間		式		1	
管明示シート工		m		87.5	
管明示テープ工(ポリエチレン管)	呼び径 φ50mm以下	m		87.5	
ポリエチレン管 据付	呼び径 13mm	m		46.2	
PP オネジソケット φ13 取付工		箇所		5	
PPエルボ φ13 取付工		箇所		9	
PP用塩ビソケット φ13 取付工		箇所		1	
止水栓 取付 (呼び径13mm)	接合及び止水栓筐 PP用	箇所		7	
PP異径ソケット φ20×13 取付工		箇所		5	
ポリエチレン管 据付	呼び径 20mm	m		15.4	

# 契約数量表

費目・工種明細など		規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
PPエルボ	φ20 取付工		箇所		6	
止水栓	取付 (呼び径20mm)	接合及び止水栓筐 P P 用	箇所		1	
サトル分水栓	建込 (ポリエチレン管 呼び径 50mm)	配水管呼び径 20mm	箇所		2	
サトル分水栓	建込 (ポリエチレン管 呼び径 75mm)	配水管呼び径 20mm	箇所		5	
ポリエチレン管	据付	呼び径 25mm	m		25.9	
PPエルボ	φ25 取付工		箇所		5	
PP用塩ビソケット	φ25 取付工		箇所		1	
PP異径チーズ	φ25×13 取付工		箇所		1	
PP異径ソケット	φ25×13 取付工		箇所		1	
止水栓	取付 (呼び径25mm)	接合及び止水栓筐 P P 用	箇所		2	
サトル分水栓	建込 (ポリエチレン管 呼び径 50mm)	配水管呼び径 25mm	箇所		1	
サトル分水栓	建込 (ポリエチレン管 呼び径 75mm)	配水管呼び径 25mm	箇所		1	
HIVP管	φ13 布設工	墨出し・切断・管接合・支持材料・弁類	m		13.5	
HIVP管	φ25 布設工	墨出し・切断・管接合・支持材料・弁類	m		2.5	
硬質塩化ビニル管	TS継手工 (呼び径 75mm)		口		3	
鉄蓋	設置工 (角形1号 内寸500×400)		個		3	
フランジ	継手 φ75撤去設置工		箇所		2	
布設土工						

# 契約数量表

頁0-0011/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		170	
舗装版取壊し積込工	舗装厚=>0cm越え 10cm以下	m <sup>2</sup>		49	
掘削積込工		m <sup>3</sup>		21	
掘削積込工(補助的作業なし)		m <sup>3</sup>		1	
床掘り【人力】	土砂 現場制約あり	m <sup>3</sup>		0.6	
残塊処分工(アスファルト)		m <sup>3</sup>		2	
残塊処分工(土砂)		m <sup>3</sup>		22	
アスファルト舗装工(人力)	密粒度アスコ[再](13) t=50mm	m <sup>2</sup>		49	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	m <sup>2</sup>		49	
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)		m <sup>3</sup>		7	
埋戻工(埋戻し材->流用土)		m <sup>3</sup>		0.6	
埋戻工(埋戻し材->スクリーニングス)		m <sup>3</sup>		7	
付帯工					
既設管撤去工					
既設管撤去手間・材料		式		1	
鋳鉄管吊込み撤去(機械力)	呼び径 75mm以下	m		75	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	口		66	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
硬質塩化ビニル管 撤去	呼び径 75mm	m		31.7	
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工	φ75mm	口		7	
残塊処分工(廃プラ)		t		0.06	
フランジ継手 取外し(呼び径 75(80)mm)	J WWA 7.5K	口		1	
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm		口		1	
メカニカル継手 取外し(呼び径 75mm以下)	継手：S, SII, NS, U, K形以外	口		1	
メカニカル継手 接合・取外し(呼び径 75mm以下)	継手：K形 特殊押輪補正あり	口		1	
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		4	
既設円形1号ボックス撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		4	
消火栓(地下式 単口)撤去工	機械施工 フランジ 接合1口含む	箇所		1	
既設円形3号ボックス撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		1	
現場発生品・支給品運搬		回		1	
付帯工					
フェンス撤去工		式		1	
支柱撤去工	充填材の混練及び打設含む	本		29	
フェンス(金網柵)撤去工	胴縁取付及び金網撤去を含む	m		63	
フェンス設置工		式		1	
支柱設置工	充填材の混練及び打設含む	本		29	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
フェンス(金網柵)設置工	胴縁取付及び金網張立を含む	m		63	
メッシュフェンス H=1800	UN-50シリーズ 支柱間隔2000	m		63	
露出配管固定工		式		1	
露出配管 φ150用支持材料取付工	屋外	m		231.9	
フェンス用基礎ブロック	200×200×450	個		188	
Uボルト φ150	架台配管用	個		188	
樹脂アンカー	D13	本		376	
支障木撤去工		式		1	
支障木機械抜根(C=1cm~19cm)		本		20	
残塊処分工(生木(根))		t		0.1	
試掘調査		式		1	
試掘調査工					
通水試験費		式		1	
通水試験費	給水車不要の場合	回		1	
スクラップ控除		式		1	
鉄屑	ペー H1	t		1.4	

# 数量計算総括表

船上浄化センター上水道管布設替工事

明石市下水道室

φ 50配水管(材料):埋設物

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
PE受口付直管 (L= 5.0 m)				23	115.000	
切管使用本数				9	37.000	
甲切管	PE-EF			9	31.600	
乙切管	PE-EF			3	5.400	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
PE	EF受口付直管	φ 50		32	152.000	
PE	EF片受ベンド	φ 50 × 90°	0.330	4	1.320	
PE	EF片受ベンド	φ 50 × 45°	0.270	3	0.810	
PE	EF片受ベンド	φ 50 × 22° 1/2	0.230	1	0.230	
PE	EF両受ベンド	φ 50 × 90°	0.280	3	0.840	
PE	EF両受ベンド	φ 50 × 45°	0.220	1	0.220	
PE	EF両受ベンド	φ 50 × 11° 1/4	0.180	1	0.180	
PE	EFソケット	φ 50		2		
PE	挿し口付ソフトシール仕切弁	φ 50	0.680	1	0.680	
PV	ジョイント	φ 50	0.254	1	0.254	
	仕切弁室(明石V型)	H=540		1		塩害用鉄蓋
	表示帯			156.5		
	PE用スリーブ(溶剤浸透防止)	φ 50		156.5		
	管明示テープ(区間距離 × 1.18 / 20 =)			10		
管材料延長計					156.534	



φ 50配水管(材料):露出部

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
PEプレーンエンド直管 (L= 5.0 m)				5	25.000	耐候性保温仕様
切管使用本数				2	8.200	
乙切管 PE-EF				6	8.200	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
PE	EF直管(プレーンエンド)	φ 50		7	33.200	保温付UVが-ド仕様
PE	EF両挿バンド	φ 50 × 90°	0.380	5	1.900	保温付UVが-ド仕様
PE	EF両挿バンド	φ 50 × 45°	0.320	2	0.640	保温付UVが-ド仕様
PE	EF両挿バンド	φ 50 × 11° 1/4	0.260	1	0.260	保温付UVが-ド仕様
PE	EFソケット	φ 50		15		
	ソケットカバー	φ 50用		15		保温付UVが-ド仕様
管材料延長計				36.000		



## φ 50配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
ポリエチレン管(融着接合)据付工 φ 50	155.9 m	区間距離-仕切弁延長計
ポリエチレン管(融着接合)据付工 φ 50	36.0 m	保温付UV仕様
ポリエチレン管切断工 φ 50	12 口	
ポリエチレン管切断工(保温カバー切断含む) φ 50	6 口	
ソケットカバー取付工 φ 50用	15 箇所	
仕切弁設置工 φ 50	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=540	1 箇所	
ポリエチレン管(融着接合)接手工 φ 50	84 箇所	1箇所あたり1口
硬質塩化ビニル管接手工 φ 50	1 口	
管明示シート工	156.5 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 50	156.5 m	
管明示テープ工 φ 50	156.5 m	

φ50配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3
延長 箇所等	156.5		79.9	9.7	66.9

工種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3
舗装版切断(As) t≤15cm	133.80	133	m			133.80
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	36.80	36	m <sup>2</sup>			36.80
掘削積込工	59.52	59	m <sup>3</sup>	33.40		26.12
掘削(人力)	2.45	2	m <sup>3</sup>		2.45	
残塊処分工(As)	1.84	1	m <sup>3</sup>			1.84
残塊処分工(土砂)	41.85	41	m <sup>3</sup>	13.87	1.86	26.12
仮復旧工(密粒度(再))(13)	36.80	36	m <sup>2</sup>			36.80
路盤工(粒調碎石) t=10cm	36.80	36	m <sup>2</sup>			36.80
埋戻工(流用土)	17.58	17	m <sup>3</sup>	17.58		
埋戻工(再生碎石)	9.20	9	m <sup>3</sup>			9.20
埋戻工(スクリーニングス)	28.63	28	m <sup>3</sup>	15.58		13.05
埋戻工(再生碎石)(人力)	0.53	0.5	m <sup>3</sup>		0.53	
埋戻工(スクリーニングス)(人力)	1.89	1	m <sup>3</sup>		1.89	

# φ50配水管(土工1)砂利部 流用土利用

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	砂利			

新設管

管種	管外径	管断面積
PE φ 50	0.063	0.003

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	掘削深(H)	矢板
79.9	0.55	0.60		0.76	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	
		幅等	厚	延長	箇所等		
掘削積込工 (管断面控除)	0.76	0.55	×	0.76	×	79.9	33.40
残塊処分工(土砂)		33.40 - 17.58 / 0.9				13.87	
埋戻工(流用土)	0.40	0.55	×	0.40	×	79.9	17.58
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.36	0.55	×	0.36	×	79.9	15.58
		-	0.003		×	79.9	

# φ50配水管(土工2)砂利部 人力

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	砂利			

新設管

管種	管外径	管断面積
PE φ 50	0.063	0.003

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	掘削深(H)	矢板
9.7	0.55	0.30		0.46	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	
		幅等	厚	延長	箇所等		
掘削積込工(人力) (管断面控除)	0.46	0.55	×	0.46	×	9.7	2.45
残塊処分工(土砂)		2.45	-	0.53	/	0.9	1.86
埋戻工(流用土)(人力)	0.10	0.55	×	0.10	×	9.7	0.53
埋戻工(スクリーニングス)(人力) (管断面控除)	0.36	0.55	×	0.36	×	9.7	1.89
		-	0.003		×	9.7	

### φ50配水管(土工3)As部

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	As1層		As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
PEφ50	0.063	0.003

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	掘削深(H)	矢板
66.9	0.55	0.60	0.05	0.76	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			66.9 × 2	133.80
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	0.55		× 66.9	36.80
掘削積込工 (管断面控除)	0.71	0.55	×	0.71 × 66.9	26.12
残塊処分工(As)				36.80 × 0.05	1.84
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量	26.12
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55		× 66.9	36.80
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55		× 66.9	36.80
埋戻工(再生碎石)	0.25	0.55	×	0.25 × 66.9	9.20
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.36	0.55	×	0.36 × 66.9	13.05
		—		0.003 × 66.9	

φ 75配水管(材料):埋設部

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
PE受口付直管 (L= 5.0 m)				36	180.000	
切管使用本数				23	61.900	
甲切管	PE-EF			23	51.300	
乙切管	PE-EF			9	10.600	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
PE	EF受口付直管	φ 75		59	241.900	
PE	EF片受ベンド	φ 75 × 90°	0.500	9	4.500	
PE	EF片受ベンド	φ 75 × 45°	0.480	7	3.360	
PE	EF片受ベンド	φ 75 × 22° 1/2	0.380	4	1.520	
PE	EF両受ベンド	φ 75 × 90°	0.400	2	0.800	
PE	EF両受ベンド	φ 75 × 22° 1/2	0.280	1	0.280	
PE	EF両受ベンド	φ 75 × 11° 1/4	0.260	1	0.260	
PE	EFチーズ(両受型)	φ 75 × 75	0.100	4	0.400	
PE	EF異径チーズ(両受型)	φ 75 × 50	0.100	2	0.200	
PE	EF片受レデューサ	φ 75 × 50	0.340	1	0.340	
PE	EFソケット	φ 75		4		
PE	EFキャップ(受型)	φ 75	0.090	1	0.090	
PE	フランジ付EFチーズ	φ 75 × 75	0.100	1	0.100	铸铁フランジ
PE	EFフランジ	φ 75	0.160	1	0.160	铸铁フランジ
PE	挿し口付ソフトシール仕切弁	φ 75	0.780	6	4.680	
PC	ジョイント	φ 75	0.148	5	0.740	
	仕切弁室(明石V型)	H=540		6		塩害用鉄蓋
	ケレップ式単口消火栓(浅埋形)	φ 75 × 65		1		
	フランジ短管	φ 75 × 150		1		
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100		1		
	フランジ接合補強具(LSP形)	φ 75		6		
	消火栓室(明石IV型・丸型)(塩害用)	H=640		1		
	定水位弁	φ 75		1		铸铁フランジ
	表示帯			259.3		
	PE用スリーブ(溶剤浸透防止)	φ 75		259.3		
	管明示テープ(区間距離 × 1.25 / 20 =)			17		
管材料延長計					259.330	



φ 75配水管(材料):露出部

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
PEプレーンエンド直管 (L= 5.0 m)				35	175.000	耐候性保温使用
切管使用本数				5	12.100	
乙切管	PE-EF			13	12.100	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
PE	EF直管(プレーンエンド)	φ 75		40	187.100	保温付UV6-1仕様
PE	EF両挿ベンド	φ 75 × 90°	0.600	8	4.800	保温付UV6-1仕様
PE	EF両挿ベンド	φ 75 × 45°	0.580	2	1.160	保温付UV6-1仕様
PE	EF両挿ベンド	φ 75 × 22° 1/2	0.480	2	0.960	保温付UV6-1仕様
PE	EFソケット	φ 75		60		
	ソケットカバー	φ 50用		60		保温付UV6-1仕様
管材料延長計					194.020	



## φ 75配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
ポリエチレン管(融着接合)据付工 φ 75	254.6 m	区間距離-仕切弁延長計
ポリエチレン管(融着接合)据付工 φ 75	194.0 m	保温付UV仕様
ポリエチレン管切断工 φ 75	20 口	
ポリエチレン管切断工(保温カバー切断含む) φ 75	13 口	
ソケットカバー取付工 φ 75用	60 箇所	
仕切弁設置工 φ 75	7 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=540	6 箇所	
消火栓設置工 φ 75 × 65	1 箇所	フランジ接合1箇所含む
フランジ接手工 φ 75	5 箇所	
ポリエチレン管(融着接合)接手工 φ 75	232 箇所	1箇所あたり1口
ポリエチレン管(メカニカル接手)接手工 φ 75	5 口	
メカニカル接手工 φ 75	5 口	
管明示シート工	259.3 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 75	259.3 m	
管明示テープ工 φ 75	259.3 m	

φ75配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2
延長 箇所等	259.3		9.6	249.7

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2
舗装版切断(As) t≤15cm	499.40	499	m		499.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	137.34	137	m2		137.34
掘削積込工	105.80	105	m3	4.17	101.63
残塊処分工(As)	6.87	6	m3		6.87
残塊処分工(土砂)	103.46	103	m3	1.83	101.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	137.34	137	m2		137.34
路盤工(粒調碎石) t=10cm	137.34	137	m2		137.34
埋戻工(流用土)	2.11	2	m3	2.11	
埋戻工(再生碎石)	34.33	34	m3		34.33
埋戻工(スクリーニングス)	54.59	54	m3	2.00	52.59

# φ75配水管(土工1)砂利部

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	砂利			

新設管

管種	管外径	管断面積
PE φ75	0.090	0.006

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	掘削深(H)	矢板
9.6	0.55	0.60		0.79	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	
		幅等	厚	延長	箇所等		
掘削積込工 (管断面控除)	0.79	0.55	×	0.79	×	9.6	4.17
残塊処分工(土砂)		4.17	-	2.11	/	0.9	1.83
埋戻工(流用土)	0.40	0.55	×	0.40	×	9.6	2.11
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.39	0.55	×	0.39	×	9.6	2.00
		-	0.006		×	9.6	

## φ75配水管(土工2)As部

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工	As1層		As5cm	粒調碎石10cm

新設管

管種	管外径	管断面積
PE φ75	0.090	0.006

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	掘削深(H)	矢板
249.7	0.55	0.60	0.05	0.79	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ75	75.00	0.093	0.0070

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			249.7 ×	2	499.40
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	0.55		× 249.7		137.34
掘削積込工 (管断面控除)	0.74	0.55	×	0.74 ×	249.7	101.63
残塊処分工(As)		137.34	×	0.05		6.87
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				101.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55		× 249.7		137.34
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55		× 249.7		137.34
埋戻工(再生碎石)	0.25	0.55	×	0.25 ×	249.7	34.33
埋戻工(スクリーニングス) (既設管撤去補充分) (管断面控除)	0.39	0.55	×	0.39 ×	249.7	52.59
		+		0.007	× 75	
		-		0.006	× 249.7	

PP・HIVP 材料・手間

名称等	材料	手間	備考
	当初	当初	
表示帯(管明示シート工)	87.5 m	87.5 m	
管明示テープ(管明示テープ工(PP管))	5 巻	87.5 m	合計延長÷20(m/巻)

口径	名称等	口径等	材料	手間	備考
			当初	当初	
PP13	PP管	φ 13	46.2 m	46.2 m	
	PP用オネジソケット	φ 13	5 個	5 箇所	
	PPエルボ	φ 13 × 90°	9 個	9 箇所	
	PP用塩ビソケット	φ 13	1 個	1 箇所	
	止水栓	φ 13	7 個	7 箇所	
	PP異径ソケット	φ 20 × 13	5 個	5 箇所	
PP20	PP管	φ 20	15.4 m	15.4 m	
	PPエルボ	φ 20 × 90°	6 個	6 箇所	
	止水栓	φ 20	1 個	1 箇所	
	サドル分水栓(EF)	φ 50 × 20	2 個	7 箇所	
		φ 75 × 20	5 個		
PP25	PP管	φ 25	25.9 m	25.9 m	
	PPエルボ	φ 25 × 90°	5 個	5 箇所	
	PP用塩ビソケット	φ 25	1 個	1 箇所	
	PP用異径チーズ	φ 25 × 13	1 個	1 箇所	
	PP用異径ソケット	φ 25 × 13	1 個	1 箇所	
	止水栓	φ 25	2 個	2 箇所	
	サドル分水栓(EF)	φ 50 × 25	1 個	1 箇所	
		φ 75 × 25	1 個		
HIVP13	HIVP管	φ 13	13.5 m	13.5 m	
	保温チューブ	φ 13	8.0 m		耐候性仕様
HIVP25	HIVP管	φ 25	2.5 m	2.5 m	
	保温チューブ	φ 25	2.5 m		耐候性仕様
HIVP75	HIVP キャップ	φ 75	3 個	3 個	
その他	止水栓ボックス		10 個		
	散水栓	φ 13	1 個		
	散水栓	φ 20	2 個		
	散水栓ボックス		3 個	3 箇所	
	フランジ接手材(RF)	φ 75	2 個	2 箇所	

PP管布設土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	
				分水穿孔	給水管
舗装版切断(As) t≤15cm	170.06	170	m		170.06
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	49.74	49	m2	2.97	46.77
掘削積込工	21.04	21	m2		21.04
掘削積込工(補助的作業なし)	1.08	1	m3	1.08	
掘削(人力)	0.63	0.6	m3	0.63	
残塊処分工(As)	2.52	2	m3	0.18	2.34
残塊処分工(土砂)	22.05	22	m3	1.01	21.04
仮復旧工(密粒度(再)(13))	49.74	49	m2	2.97	46.77
路盤工(粒調碎石) t=10cm	49.74	49	m2	2.97	46.77
埋戻工(再生碎石)	7.01	7	m2		7.01
埋戻工(流用土)	0.63	0.6	m2	0.63	
埋戻工(スクリーニングス)	7.60	7	m3	0.63	6.97

# PP管布設土工1

## 道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤
昼間施工			As5cm	粒調碎石10cm

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設			

## 分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
9	0.55	0.60	管上まで	0.60	0.60	0.05

## 給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.55	0.50	87.50	85.03	87.5-0.55/2×9

## PP管

管種	布設延長	管外径	管断面積
PPφ13	46.20	0.021	0.0003
PPφ20	15.40	0.027	0.0006
PPφ25	25.90	0.034	0.0009

## 分水穿孔部

工種	施工厚	計算式			数量	9箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	0.55	×	0.60	0.33	2.97
掘削積込工(補助の作業なし)	0.35	0.55	×	0.35 × 0.60	0.12	1.08
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.55	×	0.20 × 0.60	0.07	0.63
残塊処分工(As)		0.33	×	0.05	0.02	0.18
残塊処分工(土砂)		0.12 +	0.07 -	0.07 / 0.9	0.11	1.01
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55	×	0.60	0.33	2.97
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55	×	0.60	0.33	2.97
埋戻工(流用土)	0.20	0.55	×	0.20 × 0.60	0.07	0.63
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.55	×	0.20 × 0.60	0.07	0.63

## 給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			85.03 × 2	170.06
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	0.55	×	85.03	46.77
掘削積込工	0.45	0.55	×	0.45 × 85.03	21.04
残塊処分工(As)		46.77	×	0.05	2.34
残塊処分工(土砂)		21.04			21.04
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55	×	85.03	46.77
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55	×	85.03	46.77
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.55	×	0.15 × 85.03	7.01
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.55	×	0.15 × 85.03	6.97
		0.0003	×	46.20	
		0.0006	×	15.40	
		0.0009	×	25.90	

既設管撤去

鑄鉄管撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計	As1層部		
合計	75.0	1.4				
75 0.018 t/m	75.0	1.35				

鑄鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所計(口)	既設管接続箇所(口)	既設管連続箇所(口)	計算式
75	66	3	63	75/1.2

HIVP撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (kg)	土工延長 計	As1層部		
合計	31.7	69.8				
75 2.202 kg/m	31.7	69.81	0.0			

HIVP(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所計(口)	既設管接続箇所(口)	既設管連続箇所(口)	計算式
75	7	1	6	31.7/6

仮設材料・継手設置撤去工

口径	手間		
	フランジ取外工	PPメカ継手設置撤去工	メカニカル継手設置撤去工
75	1	1	1

仕切弁関係

口径	仕切弁 (鑄鉄製) (基)	仕切弁 ボックス(管 所)
75	4	4
合計	4	4

消火栓関係

口径	消火栓 (基)	消火栓 ボックス(管 所)
75	1	1
合計	1	1



船上浄化センター上水道管布設替工事

特記仕様書

明石市都市局下水道室

## 特記仕様書

工 事 名 船上浄化センター上水道管布設替工事  
工 事 場 所 明石市船上町1-5

### 工期

本工事の工期は令和5年3月10日までとする。

### 適用

本仕様書は、明石市都市局下水道室が発注する『船上浄化センター上水道管布設替工事』に適用する。

### 工事費の積算

本工事は水道工事諸経費体系を用いて工事費の積算を行っている。

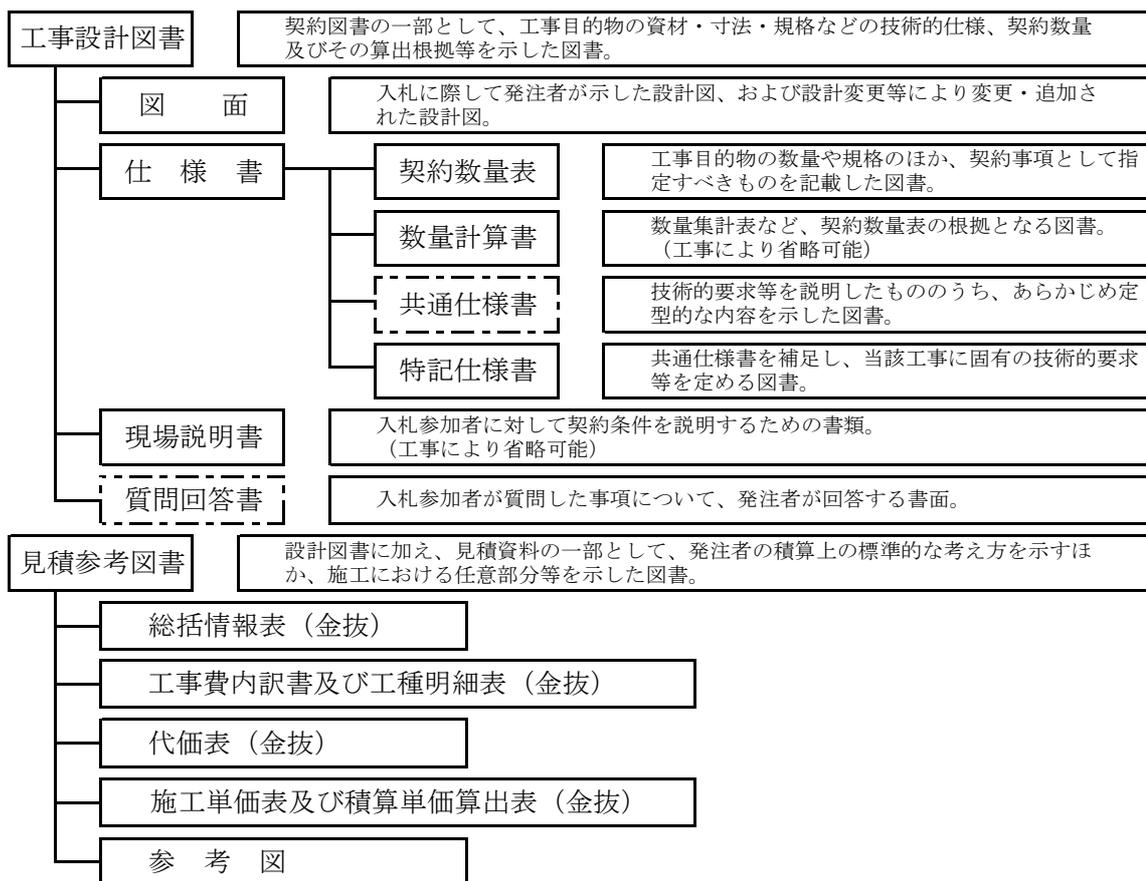
### 基準図書

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、つぎの図書による。

- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事請負必携（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事共通仕様書（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「土木工事施工管理基準（平成29年度最新版）」
- ※ 兵庫県県土整備部「小型構造物標準図集（平成25年12月）」
- ※ 日本水道協会「水道工事標準仕様書【土木工事編】（2010年）」
- ※ 全国簡易水道協議会「水道事業実務必携（令和2年度改定版）」
- ※ 土木学会監修「コンクリート標準示方書[施工編]（2017年制定）」
- ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（平成31年度版）」
- ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針（令和元年度版）」
- ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（平成31年度版）」
- ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針（令和元年度版）」
- ※ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図（平成28年度版）」
- ※ 国土交通省「あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針（平成18年度版）」

### 設計図書

- 本工事においては、明石市工事請負契約約款 第1条に規定するものを設計図書とする。
- 設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、請負者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。



**施工範囲における留意事項**

工事内容のうち現場条件等により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象とはしない。

最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。

**設計図書の照査**

現地測量は、測量標（仮BM等）、工事に用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認すること。また、特に、排水勾配・舗装縦断勾配においては測量結果を着手前に監督員へ提出すること。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は監督員の指示を受けること。

側溝高等に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

**埋蔵文化財・有価物件の処理**

工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中止し、その取扱いについて監督員の指示を受けること。

現場において発生した有価物件は、そのままの状態に保ち、監督員の指示により処理するものとする。

**基準点**

公共基準点（基準点、水準点、街区基準点、街区点等）の有無について確認し、監督員に報告すること。また、公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。

**安全確保**

- 工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。
- 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件及び架空線は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さ（高さ）を確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。
- 試掘調査及び沈下観測孔の設置については、近接する施設の管理者との立ち会い及び協議により実施箇所を決定するものとする。その結果、設計図書と相違が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
- 既設人孔等に入る時は、人孔内の安全には特に注意し、ガス検知器を用いて3名以上で確認後、作業に着手すること。
- 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
- 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかななければならない。
- 工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。
- 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮するとともに、これら工事中において、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図ること。また、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。

**仮設用水、仮設電気**

関係部署への申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。

**保険等**

明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。なお、監督員には保険証の写しを添付した報告書にて報告を行うこと。

**工事説明会**

監督員の要請がある場合は協力すること。また決定事項に従い作業を行うこと。

**事故および苦情**

発生した場合は速やかに応対し、処置状況を監督員に連絡すること。

**段階確認**

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

**境界確認**

構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認のうえ設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。

**施工計画書の作成**

工事着手時まで施工計画書を作成し監督員の確認後作業を行うこと。

**工事カルテの提出**

請負500万円以上の工事は受注・変更（工期・技術者）・完成時に監督員の確認を受け平日10日以内に登録のこと。

変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。

後日、「登録内容確認書」を提出すること。

**施工体制台帳および施工体系図**

作成し速やかに提出すること。また建設業許可証・契約書（下請負契約も含む）の写しも提出すること。なお、本工事に関連する全ての業者に適用する。  
施工体制台帳は工事現場に備え付けること。  
施工体系図は公衆の見やすい場所に掲示すること。

**身分証明**

受注者の現場代理人、監理技術者、主任技術者は工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用するものとする。



**使用建設機械**

- 低騒音型、低振動型建設機械を使用すること。
- バックホウ、発動発電機、油圧ユニット、空気圧縮機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、ホイールクレーンについては排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。
- 工事現場において確認できる写真を撮影し、完成書類として提出すること。
- 使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

**工事関係車両**

- 夜間駐車及び現場外駐車は行わず適切な管理を行うこと。

**足場その他**

- 足場及び支保工の安全確認は、チェックリスト等で確認して保管すること。

**建設副産物**

- 再資源化施設への搬入を要する建設副産物
  - コンクリート塊
  - アスファルト塊
- 下記の書類を提出すること。
  - 再生資源利用(促進)計画書(実施書)を作成する際、建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、施工計画書に添付すること。
  - 竣工時には書面の他に、電子媒体も提出すること。
  - 建設リサイクル法第11条に基づく通知を行うため、再生資源利用(促進)計画書を建設副産物情報交換システム(COBRIS)を用いて作成し、監督員に提出すること。

**発生材の処分地例及び問合先**

本工事は施工箇所が点在する。  
積算で採用している処分地は以下の通りであるが、処理施設を指定するものではない。

アスファルト塊	中谷建材(株)	運搬距離 16.8 km
建設発生土	西川建材(株)	運搬距離 16.6 km
廃プラスチック	大阪湾広域臨海環境整備センター播磨基地	運搬距離 12.9 km
生木(根)	(株)アルファ	運搬距離 19.3 km
スクラップ(鉄屑)	(株)アライメタル	運搬距離 5.9 km

- 運搬に際しては、処分地まで飛散しないように留意を行い、直接運搬すること。
- 仮置きを行う場合、保管場所の選定は受注者の責任において行い、保管に要する費用を負担すること。
- 受注者の判断で他処分地を採用した場合でも設計変更の対象とはしない。
- 兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 積算単価表」に記載されている処分地とすること。
- 建設副産物処理計画書を提出して監督員の確認を得ること。
- 処分が終了したら伝票を提出して監督員の確認を得ること。

- 木くずは、産業廃棄物として取り扱い、チップ化等再利用の促進に努めなければならない。伐採木、伐採根等のうち再利用を促進することが困難なものは、施工計画等の策定時に適切な処理先を確保しなければならない。

仮設材の運搬

仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。運搬距離については、積算参考条件として明示しているものであり、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

履行報告

工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出すること。

交通誘導警備員、安全管理、安全教育

- 安全対策については、交通誘導警備員を計上している。道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とするが、出来高に合わせた変更は行わない。

- 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

- 交通誘導警備員については、作業時間中（調査・測量時期は除くが試掘調査時は配置）配置すること。なお、現場状況及び関係機関との調整によりこれによりがたい場合は、監督員と別途協議することとし、設計変更の対象とする。また、工事関係車両や歩行者安全通路の適切な管理・誘導を行うこと。昼休みなども交替で休憩をとり安全対策を怠らないこと。

- 交通誘導警備員の1日当たりの配置人数は、下記のとおりとする。

交通誘導警備員A

警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第1項第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導警備員B

警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの

交替要員

昼休みなどの休憩中も交替で交通誘導を行うものとし、現場の必要配置人数とは別に計上するもの。積算単価は交通誘導員B。

- 受注者は下記の書類の何れかを確認後、現地に従事する者の名簿を作成し監督員に提出するものとする。

- ・交通誘導警備検定合格証（写し）
- ・警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・指定講習修了証明書（写し）
- ・警備業法施行規則 第二十六条第二項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類

- 全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。なお、工事期間中月1回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。

- ① 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- ② 当該工事内容等の周知徹底
- ③ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ④ 当該工事における災害対策訓練
- ⑤ 当該工事現場で予想される事故対策

- ⑥ その他、安全・訓練等として必要な事項
- 各工事中のすりつけ及び段差表示、夜間照明等安全対策は、特に徹底すること。
- 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置も徹底すること。

#### 掲示物

以下の項目については、工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示すること。

- 建設業許可の標識掲示
- 施工体系図の掲示
- 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場の標識掲示（掛金収納書の提出要）
- 労災保険関係成立票の掲示
- 緊急連絡体制の掲示

#### 備品

以下の項目については、現場事務所内に備えつけること。

- 施工体制台帳
- 新規入場者教育記録
- 受注者の安全巡視、KY活動の記録

#### 緊急時の連絡体制の作成

年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督員に提出すること。

また、大雨時及び台風上陸予定時も上記と同様の扱いとする。

#### 工程管理

工程管理については計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。

#### 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

#### 品質管理

- コンクリート工場、水セメント比、少量の打設、二次製品

① マーク取得工場に限定する。

鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とする。

底部（インバート）工、既設人孔連絡工等における少量のレディーミクストコンクリートの規格については、積算時における参考の条件として明示している。請負者は、止水性、施工性の良い適切な材料を選定し、施工計画書に含め、監督員と協議すること。なお、受注者の選定した材料が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更の対象とはしない。

セメントコンクリート二次製品の品質確認は、兵庫県ホームページ「ホーム > まちづくり・環境 > 設計・工事 > 制度・基準 > 土木の技術管理に関すること」に記載される「セメントコンクリート二次製品の取扱要領」に基づき実施すること。

- 再生切込碎石、粒調碎石の修正CBR値

30%以上、80%以上とする。

- 境界ブロック

下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートにより製作された製品とする。

- 現場密度試験

舗装工、路盤工の『現場密度の測定』の試験は、1,000㎡につき1個とし、施工面積が2,000㎡未満の場合の規格値はX3の場合の規格値とする。施工面積が500㎡未満においては、実績や定期試験で得られている基準密度の試験結果を提出することにより、『現場密度の測定』の試験を省略できるものとする。ただし、道路管理者および監督員の指示による場合は試験を実施すること。

□ 使用材料一般

- 日本下水道協会（JSWAS）、日本水道協会（JWWAS）の規格認定品については、認定書等により、使用する製品が認証製品であることを確認することとし、材料の試験成績表等の品質証明書の提出（『使用材料承諾願』への添付）は不要とする。
- 埋戻土については、試掘にて掘削箇所の土砂を採取し、別添「埋戻し工に関する仕様書」に基づき土質試験を実施し、その結果、掘削土を埋戻土として使用が可能な場合は設計変更の対象とする。

□ 人孔

- 人孔接合部の使用材料については、ジョイントブーツを使用すること。使用箇所は監督員に確認すること。
- ブロック人孔設置における調整ブロックは、2個以上かつ合計10cm以上25cm以下にて設置すること。
- 鉄蓋据付時には、調整モルタルとして無収縮モルタルを使用し、本市の施工マニュアルに基づいて施工すること。
- 鉄蓋表面（蓋裏も含む）及び受枠に補修剤を塗装する場合は、ポリアクリル樹脂を主成分とした塗料もしくは、鋳鉄用の黒ワズを使用すること。
- 耐スリップ型マンホール蓋の使用箇所については監督員に確認すること。
- 副管設置箇所については、監督員に確認すること。

☑ 上水道管布設

☑ 配管技能者

- ☑ 受注者はPE管（水道配水用ポリエチレン管）布設工事に先立ち、資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。
- ☑ 受注者はPP・HIVPを布設するときは明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施工基準（明石市水道局）に基づき監督・指導すること。

☑ 管の据付

管路の高さを調整する場合は、スクリーングス等を詰めた土嚢を使用すること。

☑ 水道用ポリエチレン管(EF融着継手)の接合

- ☑ 管に傷がないかを点検し、有害な傷がある場合は、その箇所を切断除去する
- ☑ 管端から測って既定の差込長さの位置に配線を記し、削り残しや切削むらの確認を容易にするため、切削する面にマーキングする。
- ☑ スクレーパを用いて管端から標線までの管表面を切削（スクレーパ）する。スピゴット継手類についても管と同様に取扱う。
- ☑ 切削面とEFソケット内面の受口全体をエタノール又はアセトン等を浸み込ませたペーパータオル等で清掃する。清掃は、きれいな素手で行う。軍手等手袋の使用は厳禁である。
- ☑ 切削・清掃した管にEFソケットを挿入し、端面に沿って円周方向に標線を記入する。
- ☑ EFソケットに双方の管を標線位置まで挿入し、固定クランプを用いて管とEFソケットを固定する。
- ☑ EFソケットに一定の電力を供給するには、コントローラを使用する。コントローラへの供給電源（発電機等）は、必要な電圧と電源容量が確保されていることを確認し、電源を接続、コントローラの電源スイッチを入れる。共用タイプ以外のコントローラはEF継手とコントローラが適合していることを確認する。
- ☑ EFソケットの端子にコントローラの出カケーブルのコネクタを接続し、コントローラに付属のバーコードリーダーで融着データを読み込む。
- ☑ コントローラのスタートスイッチを入れ通電を開始する。通電は自動的に終了する。
- ☑ EFソケットのインジケータが左右とも隆起していることを確認する。コントローラの表示が正常終了を示していることを確認する。
- ☑ 融着終了後、下記表に示す規定の時間、静置・冷却する。冷却中は固定クランプで固定したままにし、接合部に外力を加えない。

表 冷却時間

呼び径(mm)	50	75	100	150
冷却時間(分)	5	10		

- ☑ 冷却終了後、固定クランプを取り外して接合作業を終了する。
- ☑ 融着作業中のEF接合部では、水が付着することは厳禁である。水場では十分なポンプアップ、雨天時にはテントによる雨よけなどの対策が必要である。



架空線（関西電力）の防護管取付け

- 関西電力が保有する架空線等に防護管の設置が必要な場合は、防護管施工会社へ申込みの上、監督員とともに防護管施工会社と立会を行い、防護管の必要範囲を決定すること。また、防護管施工会社より見積書及び請求書を受領した際は、その写しを監督員へ提出し確認を受けること。

低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について

- 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。

その他特記事項

- 本工事については、他工事との現場代理人の兼務を認める。
- 反応タンク施設の西側に存する場内道路は、汚泥搬出用大型車両の通行があるため、妨げにならないように配慮すること。なお、大型車両の通行頻度は、3回/日または2回/日である。
  
- 作業時間は、原則9：00～17：00までとし、日、祝日は工事を施工しないこと。土曜日は監督員及び施設管理者と協議した上でハツリ作業以外出来るものとする。
  
- 本工事は、供用中の浄化センター内での工事であるため、施設運転に支障を及ぼさないよう、各施設上水管切替工程を計画すること。また、各施設断水可能時間については施設管理者との調整により決定するものとする。浄化センターとの連絡・調整は、基本的に監督員が行うため、受注者は調整に必要な資料を準備し、監督員と協議しなければならない。
- 受注者は、工事契約期間内において、浄化センターで行う工事工程会議（週1回）及び月間工程会議・安全連絡協議会（月1回）に出席しなければならない。
  
- 既設フェンス撤去中において、必要があれば第三者が敷地内に侵入しないように養生を行うこと。

## ☑ 埋戻し工に関する仕様書

- ☐ 発生土の効率的な利用を図るため、「発生土利用基準について」（平成18年8月10日付 国官技第112号、国官総第309号、国営計第59号）に基づき、下記試験を実施し、土質区分の判定を行うものとする。

- ・ 締固めた土のコーン指数試験（JIS A 1228）
- ・ 土の含水比試験（JIS A 1203）
- ・ 土の粒度試験（JIS A 1204）
- ・ 土の液性限界・塑性限界試験（JIS A 1205）

上記試験の結果、第1種及び第2種建設発生土に区分された土（適用用途：工作物の埋戻し）をCBRの指定がある道路（明石市道及び法定外道路など）に利用しようとする場合は、下記試験を実施する。

- ・ CBR試験（JIS A 1211）

CBRの指定がない道路に利用しようとする場合及び、上記試験の結果、指定されたCBRを満足した場合は、発生土を埋戻土として利用するものとし、下記試験を実施する。

- ・ 突固めによる土の締固め試験（JIS A 1210）

なお、追加実施した試験に要する費用は設計変更の対象とする。

## ☑ 埋戻し土の品質管理について

現場密度の測定は下記のいずれかを実施すること。なお、試験位置、時期及び試験基準については監督員と協議し試験を実施すること。（平成26年10月適用）

### 「品質管理基準」

試験項目	試験方法	品質規格値
現場密度の測定	最大粒径 ≤ 53mm :	土木工事施工管理基準（平成26年10月）
	砂置換法 JIS A 1214	品質管理基準及び規格値
	最大粒径 > 53mm :	21道路土工 参照
	突砂法（舗装調査・試験法便覧[4] - 185）	

### 試験基準

路体の場合、1,000m<sup>3</sup>につき1回の割合で行う。ただし、5,000m<sup>3</sup>未満の工事は、1工事当たり3回以上。路床及び構造物取付け部の場合、500m<sup>3</sup>につき1回の割合で行う。ただし、1,500m<sup>3</sup>未満の工事は1工事当たり3回以上。1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。

※ 試験に要する費用は、受注者の負担とする。

- ☑ 管の天端または暗渠のスラブ天端から30cmは、管渠に衝撃を与えないよう注意しながら、両側同時に埋め戻し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎に木蛸の類により十分に締め固めること。砂あるいは水砕スラグを用いる場合には良質のものを用い、水締め等を行って、管の下端へ十分に砂が回り込むようにし、管に点荷重がかからないように均一に締固め布設すること。
- ☑ 前項の埋戻しが完了した後、人力又は掘削機械等により管渠に影響を与えないよう土砂を投入し、これを人力により敷き均し、一層の厚さが20cmを超えない範囲で一層毎にタンバ等を用いて十分に締め固めること。なお、機械による埋戻しについては、管の天端より30cmを超え100cmまでは投入高を50cm以下とし、それを超える部分の投入高は、150cm以下とする。
- ☑ 掘削溝内に埋設物がある場合には、監督員との協議に基づく防護を施し、埋設物付近の埋戻し土が将来沈下しないようにすること。
- ☑ 掘削幅が広く、支保工に支障がなく掘削溝に露出した埋設物を損傷する恐れがない場合には、ブルドーザーにより転圧することができる。この場合においても、一層の厚さが30cmを超えない範囲で一層毎に転圧すること。
- ☐ 土留め矢板の引抜きは、埋戻し土の安定を待って徐々に行うよう方法が望ましいが、この方法が困難な場合には、数本おきに矢板を引抜き、引抜き時の空洞には砂等を充てんし、ゆるみが生じないように施工すること。
- ☐ 埋戻し路床の仕上面は、均一な支持力が得られるよう施工し、道路占用許可条件に従わなければならない。なお、監督員が必要と認めて指示する試験は行わなければならない。
- ☐ 埋戻し後、舗装復旧までの期間は常に埋戻し路面の点検を行い、維持補修を行わなければならない。

令和 4年度 船上浄化センター上水道管布設替工事

見積参考図書  
(当初設計)

工事番号

路線名等

工事箇所 明石市船上町1-5

工 種



# 総括情報表

単価適用年月日	0-04.06.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 24 市街地	前 回	

# 工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0128

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路						
φ 50管路		( 192.5 )	m			
φ 50管布設工						
材料(埋設部)						
		1	式			工種 第0001号明細表
材料(露出部)						
		1	式			工種 第0002号明細表
手間						
		1	式			工種 第0003号明細表
φ 50管布設土工						
土工						
		1	式			工種 第0004号明細表

# 工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0128

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
φ75管路	( 453.3 )	m			
φ75管布設工					
材料					
	1	式			工種 第0005号明細表
材料(露出部)					
	1	式			工種 第0006号明細表
手間					
	1	式			工種 第0007号明細表
φ75管布設土工					
土工					
	1	式			工種 第0008号明細表
引込管切替	( 8 )	箇所			
管布設工					

# 工事費内訳書

頁0-0004/0128

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料							
		1		式			工種 第0009号明細表
手間							
		1		式			工種 第0010号明細表
布設土工							
土工							
		1		式			工種 第0011号明細表
付帯工							
既設管撤去工							
既設管撤去手間・材料							
		1		式			工種 第0012号明細表
付帯工							
フェンス撤去工							
		1		式			工種 第0013号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0005/0128

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
フェンス設置工						
	1		式			工種 第0014号明細表
露出配管固定工						
	1		式			工種 第0015号明細表
支障木撤去工						
	1		式			工種 第0016号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
準備費						
			式			
試掘調査						
	1		式			工種 第0017号明細表
技術管理費						
			式			
通水試験費						
	1		式			工種 第0018号明細表

# 工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0128

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			
スクラップ控除			式			
スクラップ控除		1	式			工種 第0019号明細表
工事価格計						
消費税相当額			式			



名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PE EF受口付直管 φ50 JWWA K 144, PTC K03	32	本			
PE EF片受ベント (90°) φ50 JWWA K 145, PTC K13	4	個			
PE EF片受ベント (45°) φ50 JWWA K 145, PTC K13	3	個			
PE EF片受ベント (22° 1/2) φ50 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EF両受ベント (90°) φ50 JWWA K 145, PTC K13	3	個			
PE EF両受ベント (45°) φ50 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EF両受ベント (11° 1/4) φ50 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EFソケット φ50 JWWA K 145, PTC K13	2	個			
PE挿し口付 ソフトール仕切弁 φ50 左開き	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PVジョイント φ50 接合部材含む	1	個			
仕切弁ボックス(円形1号)(H=540) 塩害用鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0011号内訳表
表示帯	156.5	m			
ホリスリーブ φ 50 PE管用	156.5	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	10	巻			
合 計	1	式			

材料(露出部)

# 工種明細表

工種 第0002号明細表

頁0-0010/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PE EF直管 φ50 保温付UVガード仕様 プレーンエンド	7	本			
PE EF両挿ベント (90°) φ50 保温付UVガード仕様	5	個			
PE EF両挿ベント (45°) φ50 保温付UVガード仕様	2	個			
PE EF両挿ベント (11° 1/4) φ50 保温付UVガード仕様	1	個			
PE EFソケット φ50 JWWA K 145, PTC K13	15	個			
ソケットカバー φ50用 保温付UVガード仕様	15	個			
合計	1	式			

手間

## 工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0011/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 50mm	155.9	m			施工 第0-0012号内訳表
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 50mm 保温付UVガード仕様	36.0	m			施工 第0-0013号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径50mm	12	口			施工 第0-0014号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 φ50 保温カバー切断含む	6	口			施工 第0-0015号内訳表
ソケットカバー取付工 呼び径 50mm 保温付UVガード仕様	15	箇所			施工 第0-0016号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	1	基			施工 第0-0017号内訳表
仕切弁ボックス設置工(H=540) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 50mm 1口継手	84	箇所			施工 第0-0019号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)	1	口			施工 第0-0020号内訳表



土工

## 工種明細表

工種 第0004号明細表

頁0-0013/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	133	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	36	m <sup>2</sup>			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	59	m <sup>3</sup>			施工 第0-0024号内訳表
床掘り【人力】 土砂 現場制約あり	2	m <sup>3</sup>			施工 第0-0025号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株) 運搬距離 L=16.8km	1	m <sup>3</sup>			施工 第0-0009号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株) 運搬距離 L=16.6km	41	m <sup>3</sup>			施工 第0-0010号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm	36	m <sup>2</sup>			施工 第0-0008号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	36	m <sup>2</sup>			施工 第0-0007号内訳表
埋戻工(埋戻し材→流用土)	17	m <sup>3</sup>			施工 第0-0026号内訳表

土工

# 工種明細表

工種 第0004号明細表

頁0-0014/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)	9	m3			施工 第0-0006号内訳表
埋戻工(埋戻し材->スクリーニングス)	28	m3			施工 第0-0005号内訳表
人力埋戻(再生碎石)	0.5	m3			施工 第0-0027号内訳表
人力埋戻(スクリーニングス)	1	m3			施工 第0-0028号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PE EF受口付直管 φ75 JWWA K 145, PTC K13	59	本			
PE EF片受ベント (90°) φ75 JWWA K 145, PTC K13	9	個			
PE EF片受ベント (45°) φ75 JWWA K 145, PTC K13	7	個			
PE EF片受ベント (22° 1/2) φ75 JWWA K 145, PTC K13	4	個			
PE EF両受ベント (90°) φ75 JWWA K 145, PTC K13	2	個			
PE EF両受ベント (22° 1/2) φ75 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EF両受ベント (11° 1/4) φ75 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EFチース (両受型) φ75×75 JWWA K 145, PTC K13	4	個			
PE EF異径チース (両受型) φ75×50 JWWA K 145, PTC K13	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PE EF片受レギュサ φ75×50 JWWA K 145, PTC K13	1	個			
PE EFソケット φ75 JWWA K 145, PTC K13	4	個			
PE EF キャップ φ75 JWWA K 145, PTC K13 受口付	1	個			
PE フランジ付チースRF形 (7.5k) φ75×75 JWWA K 145, PTC K13 FCD製フランジ	1	個			
PE EF フランジ φ75 JWWA K 145, PTC K1 FCD製フランジ RF型 7.5K	1	個			
PE挿し口付 ソトシール仕切弁 φ75	6	個			
PC ジョイント φ75 継手材含む	5	個			
仕切弁ボックス(円形1号) (H=540) 塩害用鉄蓋含む	6	組			施工 第0-0011号内訳表
ケラップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面ホコシ粉体塗装	1	基			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ短管 φ 75×150 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
補修弁（キャップ式）φ75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			
フランジ接合補強具(LSP形) φ 75 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	6	組			
消火栓ボックス(円形3号)(H=640) 塩害用鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0029号内訳表
定水位弁 φ75 ストレート型 フランジ継手	1	個			
表示帯	259.3	m			
ポリスリーブ φ 75 PE管用	259.3	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	17	巻			
合計	1	式			



手間

## 工種明細表

工種 第0007号明細表

頁0-0019/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 75mm	254.6	m			施工 第0-0030号内訳表
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 75mm 保温付UVガード仕様	194.0	m			施工 第0-0031号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径75mm	20	口			施工 第0-0032号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 φ75 保温カバー切断含む	13	口			施工 第0-0033号内訳表
ソケットカバー取付工 呼び径 75mm 保温付UVガード仕様	60	箇所			施工 第0-0034号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	7	基			施工 第0-0017号内訳表
仕切弁ボックス設置工(H=540) 鉄蓋設置含む	6	箇所			
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0035号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	5	口			施工 第0-0036号内訳表

手間

# 工種明細表

工種 第0007号明細表

頁0-0020/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ホリフレ管(融着接合)継手工 呼び径 75mm 1口継手	232	箇所			施工 第0-0037号内訳表
メカニカル継手 接合(呼び径 75mm以下) 継手: K形 特殊押輪補正あり	5	口			施工 第0-0038号内訳表
ホリフレ管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm	5	口			施工 第0-0039号内訳表
管明示シート工	259.3	m			施工 第0-0021号内訳表
ホリフレスリーブ被覆(呼び径 75mm)	259.3	m			施工 第0-0040号内訳表
管明示テープ工(ホリフレ管) 呼び径 φ75mm 天端明示無し	259.3	m			施工 第0-0041号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	499	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	137	m <sup>2</sup>			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	105	m <sup>3</sup>			施工 第0-0024号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株)〕運搬距離 L=16.8km	6	m <sup>3</sup>			施工 第0-0009号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕運搬距離 L=16.6km	103	m <sup>3</sup>			施工 第0-0010号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm	137	m <sup>2</sup>			施工 第0-0008号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	137	m <sup>2</sup>			施工 第0-0007号内訳表
埋戻工(埋戻し材→流用土)	2	m <sup>3</sup>			施工 第0-0026号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)	34	m <sup>3</sup>			施工 第0-0006号内訳表



名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
表示帯					
	87.5	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品					
	5	巻			
PP管 φ13					
	46.2	m			
PP用オネジソケット φ13					
	5	個			
PPエルボ φ13×90°					
	9	個			
PP用塩ビソケット φ13 接続材料含む					
	1	個			
止水栓 φ13					
	7	個			
PP用異径ソケット φ20×13					
	5	個			
PP管 φ20 二層管,1種(軟質)					
	15.4	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPエルボ φ20	6	個			
止水栓 φ20	1	個			
PE用 EFサトル付分水栓 φ50×20	2	個			
PE用 EF止水付サトル付分水栓 φ75×20	5	個			
PP管 φ25 二層管,1種(軟質)	25.9	m			
PPエルボ φ25	5	個			
PP用塩ビソケット φ25 接続材料含む	1	個			
PP用異径チーズ φ25×13	1	個			
PP用異径ソケット φ25×13	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
止水栓 φ25	2	個			
PE用 EF止水付ナール分水栓 φ50×25	1	個			
PE用 EF止水付ナール分水栓 φ75×25	1	個			
HIVP φ13 材料 管継手、接合材料、支持材料、塗装材含む	13.5	m			施工 第0-0042号内訳表
保温チューブ φ13	8.0	m			
HIVP φ25 材料 管継手、接合材料、支持材料、塗装材含む	2.5	m			施工 第0-0043号内訳表
保温チューブ φ25	2.5	m			
HI キャップ φ75 JIS K 6743	3	個			
止水栓BOX 明石型 H=400	10	個			

材料

# 工種明細表

工種 第0009号明細表

頁0-0026/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
散水栓 φ13	1	個			
散水栓 φ20	2	個			
散水栓鉄蓋・BOX	3	個			
フランジ継手材(RF形) φ 75 ボルト・ナット(SUS製)及びRF形カスケツト 防食タイプ	2	組			
合 計	1	式			

手間

## 工種明細表

工種 第0010号明細表

頁0-0027/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
管明示シート工	87.5	m			施工 第0-0021号内訳表
管明示テープ工(ポリエチレン管) 呼び径φ50mm以下	87.5	m			施工 第0-0044号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 13mm	46.2	m			施工 第0-0045号内訳表
PP オネジソケット φ13 取付工	5	箇所			施工 第0-0046号内訳表
PPエルボ φ13 取付工	9	箇所			施工 第0-0047号内訳表
PP用塩ビソケット φ13 取付工	1	箇所			施工 第0-0048号内訳表
止水栓 取付(呼び径13mm) 接合及び止水栓筐 PP用	7	箇所			施工 第0-0049号内訳表
PP異径ソケット φ20×13 取付工	5	箇所			施工 第0-0050号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 20mm	15.4	m			施工 第0-0051号内訳表

手間

## 工種明細表

工種 第0010号明細表

頁0-0028/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPエルボ φ20 取付工	6	箇所			施工 第0-0052号内訳表
止水栓 取付 (呼び径20mm) 接合及び止水栓筐 PP用	1	箇所			施工 第0-0053号内訳表
ポトル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 50mm) 配水管呼び径 20mm	2	箇所			施工 第0-0054号内訳表
ポトル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 75mm) 配水管呼び径 20mm	5	箇所			施工 第0-0055号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 25mm	25.9	m			施工 第0-0056号内訳表
PPエルボ φ25 取付工	5	箇所			施工 第0-0057号内訳表
PP用塩ビソケット φ25 取付工	1	箇所			施工 第0-0058号内訳表
PP異径チーズ φ25×13 取付工	1	箇所			施工 第0-0059号内訳表
PP異径ソケット φ25×13 取付工	1	箇所			施工 第0-0060号内訳表

手間

# 工種明細表

工種 第0010号明細表

頁0-0029/0128

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
止水栓 取付 (呼び径25mm) 接合及び止水栓筐 PP用	2	箇所			施工 第0-0061号内訳表
ホトル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 50mm) 配水管呼び径 25mm	1	箇所			施工 第0-0062号内訳表
ホトル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 75mm) 配水管呼び径 25mm	1	箇所			施工 第0-0063号内訳表
HIVP管 φ13 布設工 墨出し・切断・管接合・支持材料・弁類 取付工を含む 屋外	13.5	m			施工 第0-0064号内訳表
HIVP管 φ25 布設工 墨出し・切断・管接合・支持材料・弁類 取付工を含む 屋外	2.5	m			施工 第0-0065号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 75mm)	3	口			施工 第0-0066号内訳表
鉄蓋設置工(角形1号 内寸500×400)	3	個			施工 第0-0067号内訳表
フランジ継手φ75撤去設置工	2	箇所			施工 第0-0068号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	170		m						施工	第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	49		m <sup>2</sup>						施工	第0-0002号内訳表
掘削積込工	21		m <sup>3</sup>						施工	第0-0024号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1		m <sup>3</sup>						施工	第0-0003号内訳表
床掘り【人力】 土砂 現場制約あり	0.6		m <sup>3</sup>						施工	第0-0025号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株) 運搬距離 L=16.8km	2		m <sup>3</sup>						施工	第0-0009号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株) 運搬距離 L=16.6km	22		m <sup>3</sup>						施工	第0-0010号内訳表
アスファルト舗装工(人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm	49		m <sup>2</sup>						施工	第0-0008号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	49		m <sup>2</sup>						施工	第0-0007号内訳表



名称・規格	数	量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 75mm以下	75.0		m			施工 第0-0069号内訳表
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	66		口			施工 第0-0070号内訳表
硬質塩化ビニル管 撤去 呼び径 75mm	31.7		m			施工 第0-0071号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ75mm	7		口			施工 第0-0072号内訳表
残塊処分工(廃プラ) 〔大阪環境センター〕運搬距離 L=12.9km	0.06		t			施工 第0-0073号内訳表
フランジ継手 取外し(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	1		口			施工 第0-0074号内訳表
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm	1		口			施工 第0-0039号内訳表
メカニカル継手 取外し(呼び径 75mm以下) 継手:S, SⅡ, NS, U, K形以外	1		口			施工 第0-0075号内訳表
メカニカル継手 接合・取外し(呼び径 75mm以下) 継手:K形 特殊押輪補正あり	1		口			施工 第0-0076号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	4	基			施工 第0-0077号内訳表
既設円形1号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	4	箇所			
消火栓(地下式 単口)撤去工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0079号内訳表
既設円形3号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	1	箇所			
現場発生品・支給品運搬	1	回			施工 第0-0081号内訳表
合 計	1	式			





名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
露出配管φ150用支持材料取付工 屋外	231.9	m			施工 第0-0086号内訳表
フェンス用基礎ブロック 200×200×450	188	個			
Uボルト φ150 架台配管用	188	個			
樹脂アンカー D13	376	本			施工 第0-0087号内訳表
合 計	1	式			









名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0003号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工 第0-0004号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			施工 第0-0005号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	1.6	m3			施工 第0-0006号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工 第0-0007号内訳表
アスファルト舗装工 (人力) 密粒度アスコン[再](13) t=50mm	2.0	m2			施工 第0-0008号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材(株) 運搬距離 L=16.8km	0.1	m3			施工 第0-0009号内訳表



舗装版切断(アスファルト舗装版)  
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0043/0128  
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [バキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								













# 施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0050/0128

アスファルト舗装工 (人力)

[規格1] 密粒度アスコン[再](13) t=50mm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13		t			
振動ローラ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			





















# 施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0061/0128

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

2

口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
諸雑費		%			
合計	2	口			
単位当り	1	口			

# 施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0062/0128

管明示シート工

[規格1]

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
合計	100	m			
単位当り	1	m			













































































































# 施工単価表

施工 第0-0076号内訳表

頁0-0117/0128

カニカル継手 接合・取外し(呼び径 75mm以下)

[規格1]継手:K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[ 摘要 ]

1

口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
特殊押輪使用による割増		%			(接合)
配管工		人			(取外し)
普通作業員		人			(取外し)
諸雑費		%			(取外し)
特殊押輪使用による割増		%			(取外し)
単 位 当 り	1	口			





# 積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		トラック ベーストラック4t積 2.9t吊 [クレーン装置付]			トラック			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								

















# 船上浄化センター上水道管布設替工事

